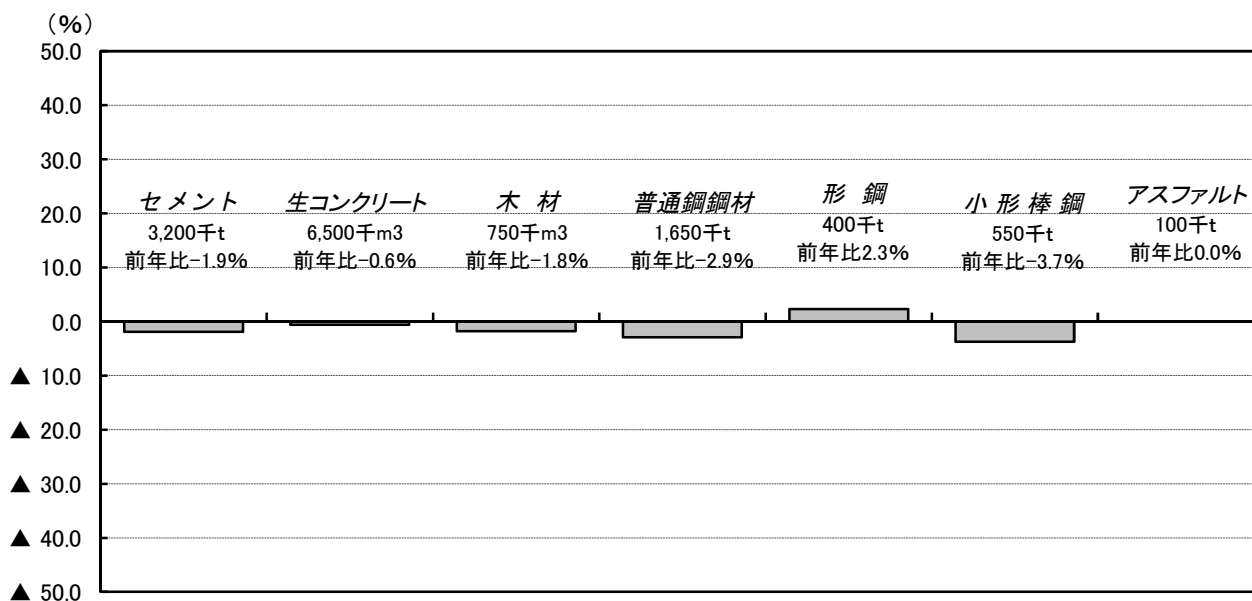


## 主要建設資材月別需要予測 ＜平成30年8月分＞

### 1. 平成30年8月の主要建設資材の予測需要量



#### 【セメント、生コンクリート】

セメントの需要量は3,200千t（前年同月比1.9%のマイナス）、生コンクリートの需要量は6,500千m<sup>3</sup>（前年同月比0.6%のマイナス）と予測される。

#### 【木材】

木材の需要量は750千m<sup>3</sup>（前年同月比1.8%のマイナス）と予測される。

#### 【普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼】

普通鋼鋼材の需要量は、1,650千t（前年同月比2.9%のマイナス）、形鋼の需要量は、400千t（前年同月比2.3%のプラス）、小形棒鋼の需要量は、550千t（前年同月比3.7%のマイナス）と予測される。

#### 【アスファルト】

アスファルトの需要量は、100千t（前年同月と同数）と予測される。

※ 平成30年8月分の主要建設資材需要量予測については、最新の統計調査結果（平成30年6月までに公表されたデータ）等を用いて算出しております。

## 2. 本予測の目的

建設資材（以下「資材」という。）の需給を安定化し、もって建設活動の円滑な実施を図ることを目的として、平成30年8月分の主要資材の需要予測を行うものである。

## 3. 対象資材等

セメント、生コンクリート、木材、普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼及びストレートアスファルトの5資材7品目の国内における需要量の見通しである。

### <セメント>

国内メーカーの国内販売量に海外メーカーからの輸入量を加えた内需量を対象としている。

「内需量」＝「国内販売量」＋「輸入量」

なお数値は、（一社）セメント協会「月別セメント販売実績」の値を用いて予測している。

### <生コンクリート>

全国生コンクリート工業組合連合会組合員工場の出荷量とその他工場の推定出荷量とを加えた出荷量を対象としている。

「出荷量」＝「組合員工場出荷量」＋「その他工場推定出荷量」

なお数値は、全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会「全国生コンクリート出荷実績（月次）」の値を用いて予測している。

### <木材>

国内メーカーの製材品出荷量を対象としており、建設向け以外の量を含んでいる。また、製材用素材として外材を含んでいる。

なお数値は、農林水産省「製材統計」の値を用いて予測している。

### <普通鋼鋼材及び形鋼>

国内メーカーの国内建設向け受注量を対象としている。

なお数値は、（一社）日本鉄鋼連盟等の値を用いて予測している。

### <小形棒鋼>

国内メーカー及び国内主要販売業者からの国内建設向け出荷量を対象としている。ただし、海外メーカーからの輸入量は含まれていない。

なお数値は、経済産業省の「鉄鋼需給動態統計調査」等の値を用いて予測している。

### <アスファルト>

国内メーカーの建設向け内需量（燃烧用及び工業用分を除いている）と海外メーカーからの建設向け輸入量を加えた建設向け等内需量を対象としている。

なお数値は、石油連盟「石油アスファルト統計月報」の値を用いて予測している。

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室	
課長補佐 鷲尾 (内線24-863)	電話 03-5253-8111 (代表)
資材係長 小西 (内線24-864)	03-5253-8283 (夜間直通)
	FAX 03-5253-1555
インターネットアドレス	<a href="http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgvo_list.html">http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgvo_list.html</a>

主要建設資材月別需要予測 予測需要量及び実績の一覧表 <平成30年8月分>

資材名称	予測対象 (単位)	項目	平成29年度																平成30年度								
			第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				第1四半期				第2四半期				
			4月	5月	6月	四半期計	7月	8月	9月	四半期計	10月	11月	12月	四半期計	1月	2月	3月	四半期計	4月	5月	6月	四半期計	7月	8月	9月	四半期計	
セメント	内需量 (千t)	実績(予測)	3,292	3,266	3,676	10,234	3,652	3,263	3,692	10,607	3,619	3,849	3,790	11,259	2,847	3,304	3,625	9,777	3,412	(3,200)	(3,600)	10,212	(3,600)	(3,200)		6,800	
		前年実績値	3,318	3,003	3,486	9,807	3,631	3,210	3,557	10,399	3,758	3,875	3,825	11,457	3,037	3,408	3,669	10,114	3,292	3,266	3,676	10,234	3,652	3,263		6,915	
		伸び率(%)	▲ 0.8	8.7	5.5	4.4	0.6	1.6	3.8	2.0	▲ 3.7	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 6.3	▲ 3.0	▲ 1.2	▲ 3.3	3.6	▲ 2.0	▲ 2.1	▲ 0.2	▲ 1.4	▲ 1.9		▲ 1.7	
生コンクリート	出荷量 (千m3)	実績(予測)	6,644	6,541	7,264	20,449	7,321	6,541	7,411	21,273	7,211	7,697	7,684	22,592	5,570	6,609	7,208	19,387	6,764	(6,250)	(7,000)	20,014	(7,000)	(6,500)		13,500	
		前年実績値	6,686	6,004	6,872	19,562	7,376	6,589	7,237	21,203	7,615	7,774	7,682	23,071	5,944	6,776	7,356	20,076	6,644	6,541	7,264	20,449	7,321	6,541		13,862	
		伸び率(%)	▲ 0.6	8.9	5.7	4.5	▲ 0.8	▲ 0.7	2.4	0.3	▲ 5.3	▲ 1.0	0.0	▲ 2.1	▲ 6.3	▲ 2.5	▲ 2.0	▲ 3.4	1.8	▲ 4.4	▲ 3.6	▲ 2.1	▲ 4.4	▲ 0.6		▲ 2.6	
木材	製材品 出荷量 (千m3)	実績(予測)	787	758	811	2,356	788	764	798	2,350	825	816	782	2,423	692	701	766	2,159	768	(700)	(750)	2,218	(750)	(750)		1,500	
		前年実績値	785	767	810	2,362	792	732	775	2,299	804	813	760	2,377	689	718	781	2,188	787	758	811	2,356	788	764		1,552	
		伸び率(%)	0.3	▲ 1.2	0.1	▲ 0.3	▲ 0.5	4.4	3.0	2.2	2.6	0.4	2.9	1.9	0.4	▲ 2.4	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 7.7	▲ 7.5	▲ 5.9	▲ 4.8	▲ 1.8		▲ 3.4	
普通鋼鋼材	建設向け 受注量 (千t)	実績(予測)	1,647	1,583	1,654	4,884	1,726	1,699	1,790	5,215	1,799	1,782	1,838	5,418	(1,700)	(1,650)	(1,900)	5,250	(1,550)	(1,550)	(1,650)	4,750	(1,650)	(1,650)		3,300	
		前年実績値	1,747	1,674	1,624	5,045	1,582	1,600	1,704	4,886	1,765	1,919	1,746	5,430	1,658	1,606	1,868	5,132	1,647	1,583	1,654	4,884	1,726	1,699		3,425	
		伸び率(%)	▲ 5.7	▲ 5.5	1.9	▲ 3.2	9.1	6.2	5.0	6.7	1.9	▲ 7.2	5.3	▲ 0.2	2.5	2.7	1.7	2.3	▲ 5.9	▲ 2.1	▲ 0.3	▲ 2.7	▲ 4.4	▲ 2.9		▲ 3.6	
	形鋼	建設向け 受注量 (千t)	実績(予測)	370	386	337	1,093	386	391	403	1,181	423	414	417	1,253	(390)	(410)	(420)	1,220	(370)	(380)	(350)	1,100	(390)	(400)		790
			前年実績値	396	383	374	1,153	345	359	351	1,055	407	440	431	1,278	382	386	423	1,191	370	386	337	1,093	386	391		777
			伸び率(%)	▲ 6.6	0.7	▲ 9.8	▲ 5.2	11.9	9.0	14.9	11.9	3.9	▲ 5.9	▲ 3.3	▲ 1.9	2.1	6.2	▲ 0.8	2.4	0.0	▲ 1.4	3.7	0.7	1.0	2.3		1.6
	小形棒鋼	建設向け 出荷量 (千t)	実績(予測)	597	572	632	1,802	599	571	604	1,774	632	614	576	1,822	541	553	635	1,728	614	(540)	(600)	1,754	(550)	(550)		1,100
			前年実績値	606	599	630	1,835	604	552	600	1,757	627	627	587	1,842	558	567	647	1,772	597	572	632	1,802	599	571		1,170
			伸び率(%)	▲ 1.4	▲ 4.5	0.3	▲ 1.8	▲ 0.8	3.4	0.6	1.0	0.7	▲ 2.1	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 2.6	▲ 1.9	▲ 2.5	2.8	▲ 5.6	▲ 5.0	▲ 2.6	▲ 8.2	▲ 3.7		▲ 6.0
アスファルト	建設向け 販売等量 (千t)	実績(予測)	77	83	88	248	99	100	108	307	112	124	120	356	62	112	154	328	78	(85)	(95)	258	(95)	(100)		195	
		前年実績値	107	47	118	272	90	86	100	276	114	121	134	369	76	112	164	353	77	83	88	248	99	100		199	
		伸び率(%)	▲ 27.9	77.1	▲ 25.6	▲ 8.8	10.6	15.7	7.5	11.1	▲ 1.9	2.7	▲ 10.9	▲ 3.7	▲ 18.4	▲ 0.3	▲ 6.4	▲ 7.1	0.4	2.8	8.4	4.0	▲ 4.4	0.0		▲ 2.2	

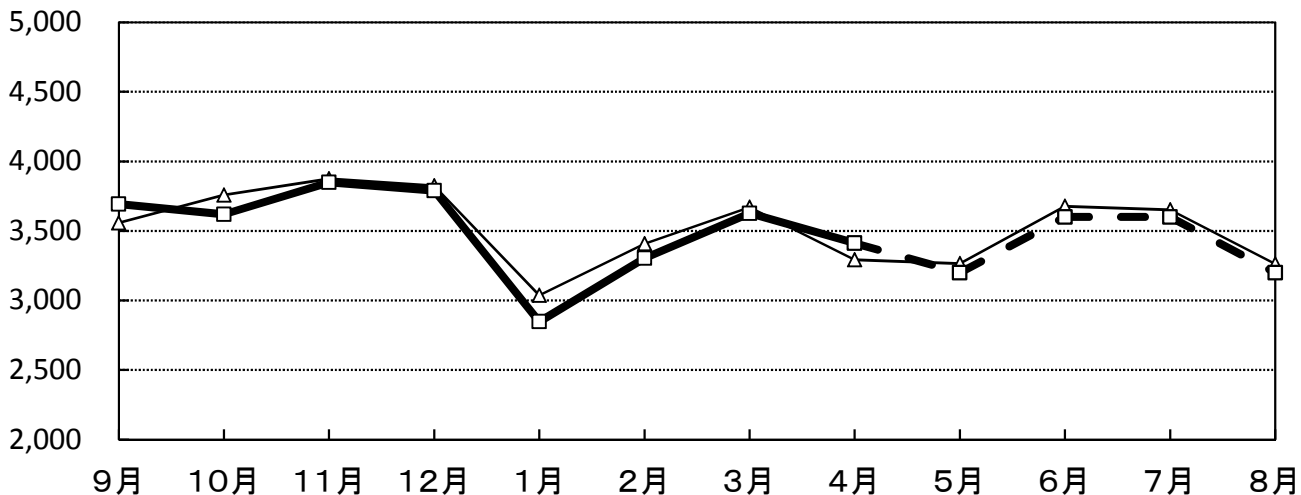
注1) 実績値のうち( )のあるものは予測値、イタリック体は速報値である。それ以外の各月の数値は実績値である。

注2) 予測結果における最小の有効単位 … セメント(100千t)、生コンクリート(250千m3)、木材(25千m3)、普通鋼鋼材(50千t)、形鋼(10千t)、小形棒鋼(10千t)、アスファルト(5千t)。

注3) 伸び率(%)は、前年同月実績値に対するもので、▲印は減少を示す。

### セメントの需要量推移

(単位:千トン)



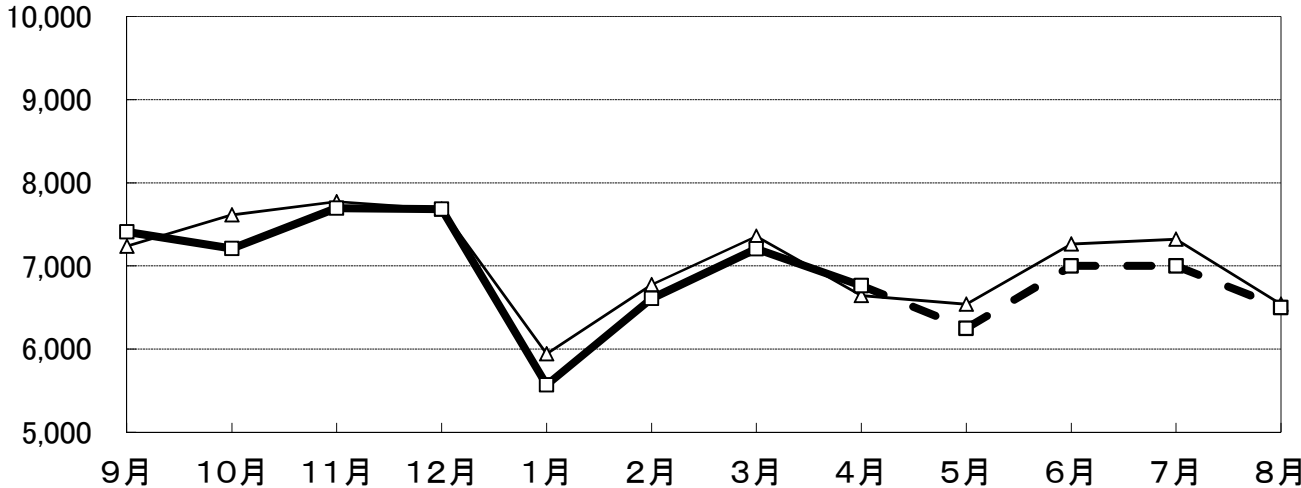
※破線は予測値

(実線部出典:一般社団法人 セメント協会)

※グラフの△は平成28年9月~平成29年8月、□は平成29年9月~平成30年8月

### 生コンクリートの需要量推移

(単位:千m3)



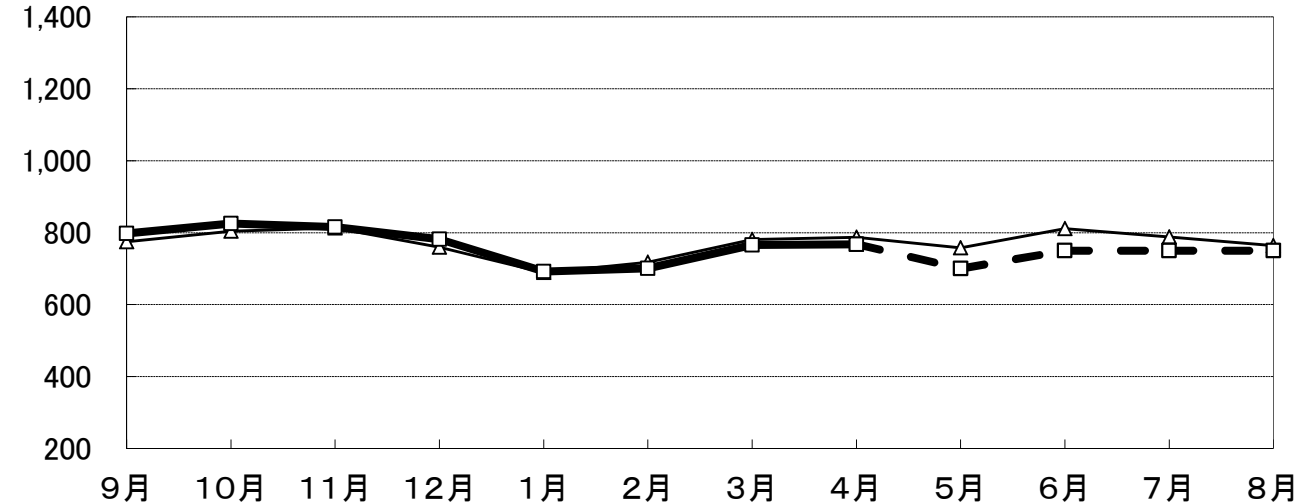
※破線は予測値

(実線部出典:全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会)

※グラフの△は平成28年9月~平成29年8月、□は平成29年9月~平成30年8月

### 木材の需要量推移

(単位:千m3)

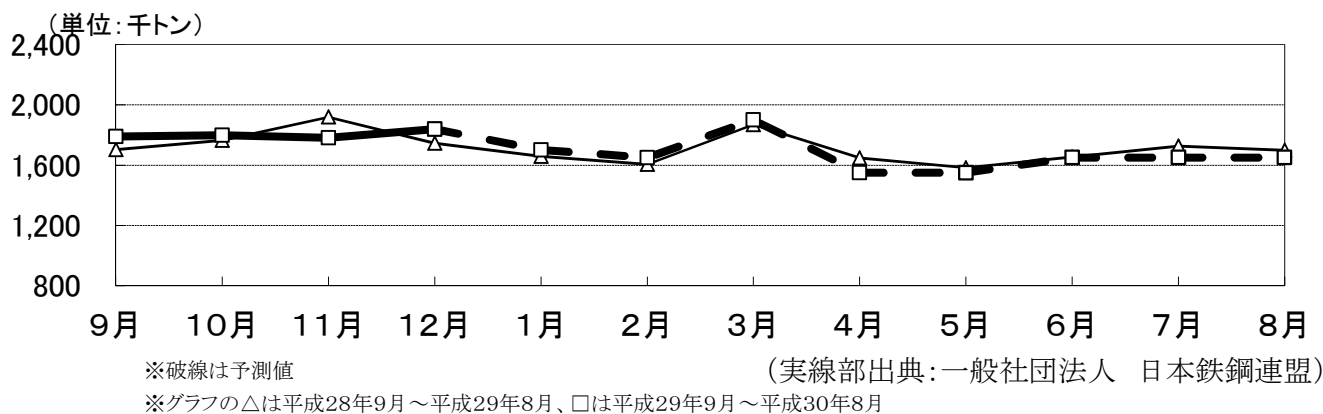


※破線は予測値

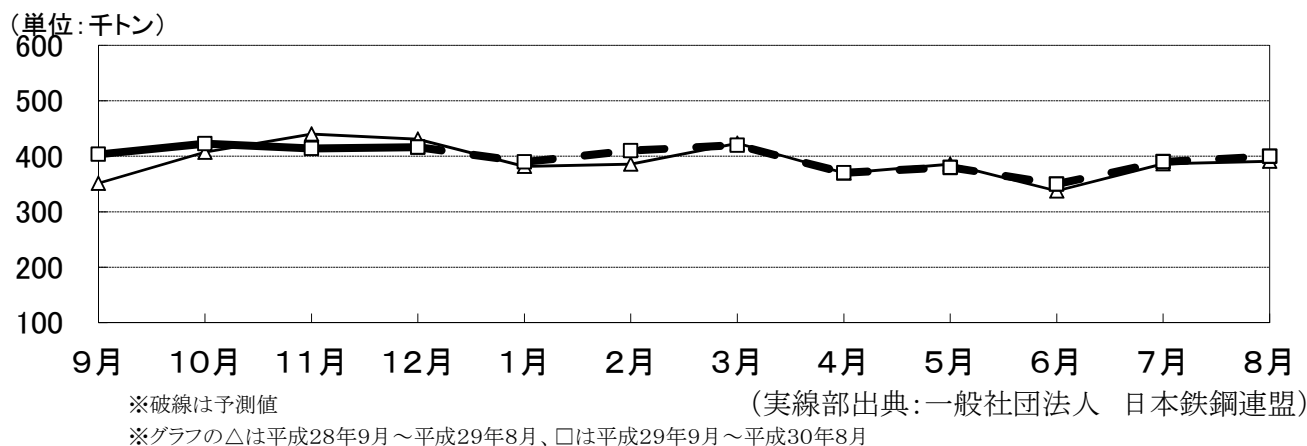
(実線部出典:農林水産省)

※グラフの△は平成28年9月~平成29年8月、□は平成29年9月~平成30年8月

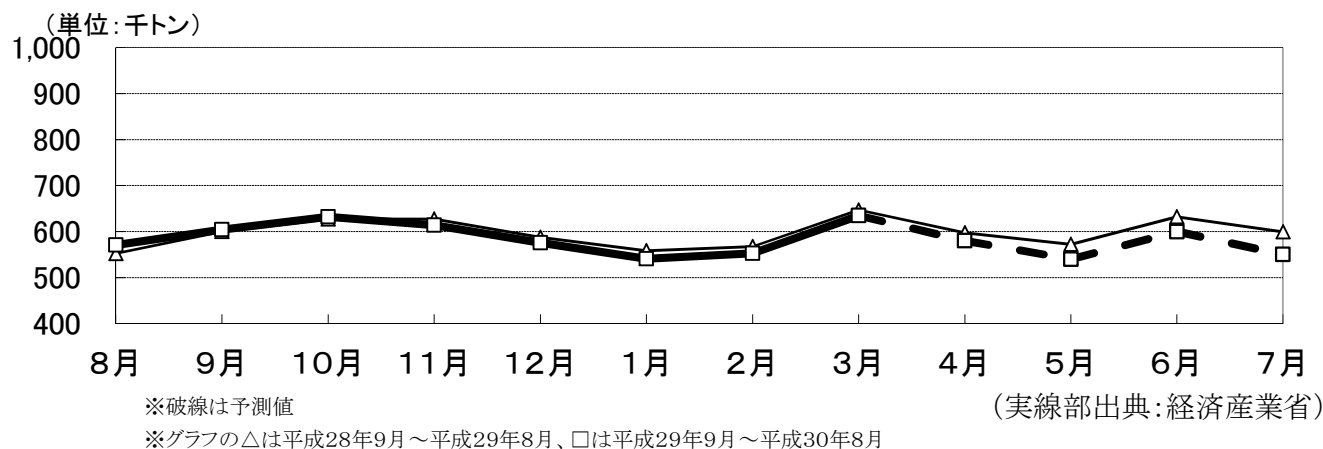
### 普通鋼鋼材の需要量推移



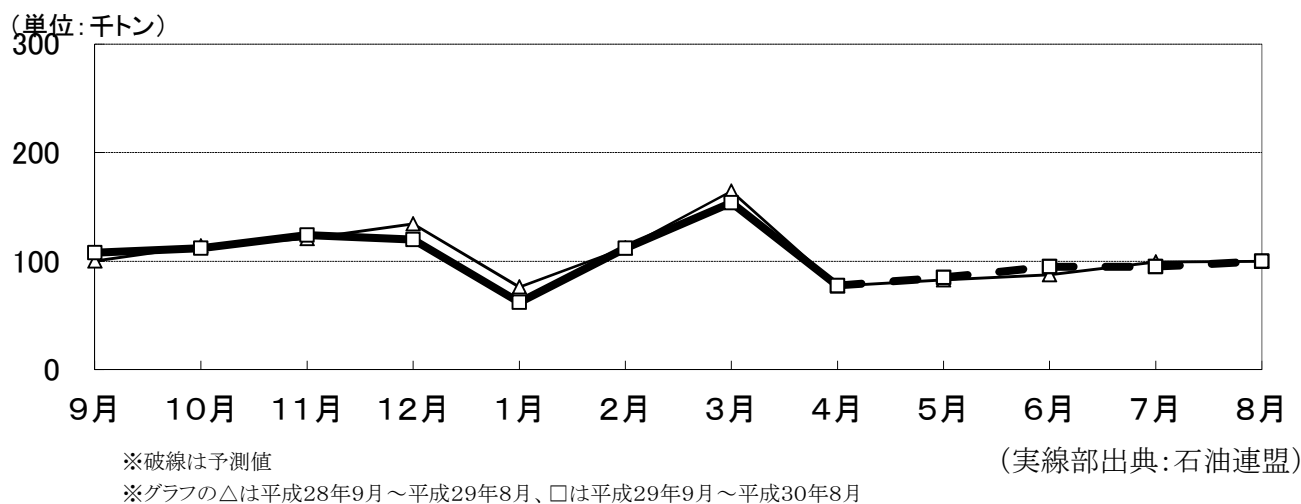
### 形鋼の需要量推移



### 小形棒鋼の需要量推移



### アスファルトの需要量推移



<主要建設資材の国内需要量実績の推移>

参考資料

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課  
平成30年7月1日 現在

		セメント (内 需 量)		生コンクリート (出 荷 量)		木材 (製材品出荷量)		普通鋼鋼材 (建設向け受注量)		形鋼 (建設向け受注量)		小形棒鋼 (建設向け出荷量)		アスファルト (建設向け等内需量)	
		千t	前年比(%)	千m3	前年比(%)	千m3	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)
		平成 9年度	76,573	▲ 7.1	167,292	▲ 7.2	21,103	▲ 13.5	28,642	▲ 6.6	7,303	▲ 10.0	11,373	▲ 3.9	4,117
10年度	70,719	▲ 7.6	153,308	▲ 8.4	18,924	▲ 10.3	25,715	▲ 10.2	6,399	▲ 12.4	10,555	▲ 7.2	3,777	▲ 8.3	
11年度	71,515	1.1	151,167	▲ 1.4	18,396	▲ 2.8	26,863	4.5	6,704	4.8	10,724	1.6	3,823	1.2	
12年度	71,435	▲ 0.1	149,483	▲ 1.1	17,282	▲ 6.1	28,024	4.3	6,896	2.9	11,001	2.6	3,804	▲ 0.5	
13年度	67,811	▲ 5.1	139,588	▲ 6.6	15,196	▲ 12.1	26,003	▲ 7.2	6,010	▲ 12.8	10,695	▲ 2.8	3,580	▲ 5.9	
14年度	63,514	▲ 6.3	131,413	▲ 5.9	14,271	▲ 6.1	25,829	▲ 0.7	5,614	▲ 6.6	10,700	0.0	3,343	▲ 6.6	
15年度	59,687	▲ 6.0	123,735	▲ 5.8	14,042	▲ 1.6	25,177	▲ 2.5	5,704	1.6	9,827	▲ 8.2	3,229	▲ 3.4	
16年度	57,569	▲ 3.5	118,982	▲ 3.8	13,446	▲ 4.2	25,066	▲ 0.4	5,623	▲ 1.4	9,725	▲ 1.0	3,014	▲ 6.7	
17年度	59,089	2.6	121,549	2.2	13,161	▲ 2.1	24,703	▲ 1.4	5,659	0.7	10,089	3.7	2,478	▲ 17.8	
18年度	58,985	▲ 0.2	121,903	0.3	12,791	▲ 2.8	25,781	4.4	5,926	4.7	10,991	8.9	2,401	▲ 3.1	
19年度	55,506	▲ 5.9	111,881	▲ 8.2	11,912	▲ 6.9	24,984	▲ 3.1	5,616	▲ 5.2	10,508	▲ 4.4	2,323	▲ 3.2	
20年度	50,087	▲ 9.8	101,009	▲ 9.7	10,809	▲ 9.3	21,240	▲ 15.0	4,738	▲ 15.6	8,722	▲ 17.0	1,882	▲ 19.0	
21年度	42,732	▲ 14.7	86,030	▲ 14.8	9,282	▲ 14.1	17,384	▲ 18.2	3,696	▲ 22.0	7,360	▲ 15.6	2,302	22.3	
22年度	41,614	▲ 2.6	85,278	▲ 0.9	9,498	2.3	18,473	6.3	3,791	2.6	7,450	1.2	1,796	▲ 22.0	
23年度	42,650	2.5	87,964	3.1	9,217	▲ 3.0	19,243	4.2	3,973	4.8	7,759	4.2	1,739	▲ 3.1	
24年度	44,577	4.5	92,099	4.7	9,380	1.8	20,604	7.1	4,314	8.6	8,234	6.1	1,565	▲ 10.0	
25年度	47,705	7.0	98,850	7.3	10,232	9.1	21,920	6.4	4,886	13.3	8,824	7.2	1,455	▲ 7.0	
26年度	45,551	▲ 4.5	94,014	▲ 4.9	9,249	▲ 9.6	21,071	▲ 3.9	4,570	▲ 6.5	8,289	▲ 6.1	1,329	▲ 8.6	
27年度	42,668	▲ 6.3	87,077	▲ 7.4	9,199	▲ 0.5	19,897	▲ 5.6	4,481	▲ 1.9	7,698	▲ 7.1	1,288	▲ 3.2	
28年度	41,777	▲ 2.1	83,912	▲ 3.6	9,226	0.3	20,493	3.0	4,677	4.4	7,206	▲ 6.4	1,270	▲ 1.3	
29年度	41,876	0.2	83,701	▲ 0.3	9,288	0.7					7,125	▲ 1.1	1,239	▲ 2.5	
平成二十九年度	4月	3,292	▲ 0.8	6,644	▲ 0.6	787	0.3	1,647	▲ 5.7	370	▲ 6.6	597	▲ 1.4	77	▲ 27.9
	5月	3,266	8.7	6,541	8.9	758	▲ 1.2	1,583	▲ 5.5	386	0.7	572	▲ 4.5	83	77.1
	6月	3,676	5.5	7,264	5.7	811	0.1	1,654	1.9	337	▲ 9.8	632	0.3	88	▲ 25.6
	7月	3,652	0.6	7,321	▲ 0.8	788	▲ 0.5	1,726	9.1	386	11.9	599	▲ 0.8	99	10.6
	8月	3,263	1.6	6,541	▲ 0.7	764	4.4	1,699	6.2	391	9.0	571	3.4	100	15.7
	9月	3,692	3.8	7,411	2.4	798	3.0	1,790	5.0	403	14.9	604	0.6	108	7.5
	10月	3,619	▲ 3.7	7,211	▲ 5.3	825	2.6	1,799	1.9	423	3.9	632	0.7	112	▲ 1.9
	11月	3,849	▲ 0.7	7,697	▲ 1.0	816	0.4	1,782	▲ 7.2	414	▲ 5.9	614	▲ 2.1	124	2.7
	12月	3,790	▲ 0.9	7,684	0.0	782	2.9	1,838	5.3	417	▲ 3.3	576	▲ 2.0	120	▲ 10.9
	平成30年 1月	2,847	▲ 6.3	5,570	▲ 6.3	692	0.4					541	▲ 3.1	62	▲ 18.4
	2月	3,304	▲ 3.0	6,609	▲ 2.5	701	▲ 2.4					553	▲ 2.6	112	▲ 0.3
	3月	3,625	▲ 1.2	7,208	▲ 2.0	766	▲ 1.9					635	▲ 1.9	154	▲ 6.4
平成三十年度	4月	3,412	3.6	6,764	1.8	768	▲ 2.4					614	2.8	78	0.4
	5月														
	6月														
	7月														
	8月														
	9月														
	10月														
平成31年 1月															
2月															
3月															

(注2) 前年比欄の▲はマイナス。

(注3) イタリック体は速報値。

(注4) 平成23年2~6月の木材の需要量は、東日本大震災の影響によりとりまとめが行えない岩手県、宮城県及び福島県分を含まない数値であり、「前年度比」は、上記3県分を除いた数値を用いて算出している。

・セメント…(一社)セメント協会「月別セメント販売実績」

・生コンクリート…全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会  
(全国生コンクリート出荷実績(月次))

・木材…農林水産省(製材統計)

・普通鋼鋼材、形鋼…(一社)日本鉄鋼連盟(鉄鋼統計月報)

・小形棒鋼…経済産業省「鉄鋼需給動態統計調査」等

・アスファルト…石油連盟(石油アスファルト統計月報)